

水草研究会会報投稿規定

1. 投稿は本会会員に限る。但し、本会が依頼した場合はこの限りではない。
 2. 原稿内容は、水草*に関する調査、研究報告、解説（総説）、短報、諸資料、諸情報、エッセイ、他とする。なお原稿の内容に疑義のある場合は、書き直しを求めることがある。
 3. 原稿作成にあたっては、以下の諸点に留意する。
 - A. 原稿は横書き原稿用紙に楷書するか、ワープロ（和文タイプ）を用いる。
 - B. 原著に相当する報文には著者名及びタイトルの英語を併記すること。また、著者が必要と認めた場合は、英文摘要（Abstract）をつけることができる。
 - C. 図は活字の貼り込みをのぞき、そのまま製版できるように仕上げる。図（写真含む）の右上または裏面に、図の番号と著者名を書き、説明は別紙に一括する。表は別紙に書く。表の説明は各表の上側につけ、必要に応じ、下に注をつける。
 - D. 文献の引用は、文献番号ではなく、著者名と年号を明記する。
（例）『三木（1937）は、…』『…である（三木、1937）』。また、文末の引用文献は、最近号の例にならって、著者の姓名のアルファベット順に配列する。
 4. 掲載の順序と体裁、並びに校正は編集担当者に一任のこと。なお、特に希望する点があれば申し出る。
 5. 別刷を必要とする場合は、投稿時に必要部数を申し込むこと（50部以上、50部単位）。費用は著者負担とする。
 6. 送稿や編集に関する通信は、〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1 神戸大学理学部生物学教室 角野康郎宛とする。
- *ここで言う水草は狭義の水草に限定せず、広く湿地や水辺の植物なども含むものとする。

〔編集後記〕

今年（1999）も残りわずかになった時点で、ようやく編集後記を書いています。前号の発行から長いブランクをあけてしまい申し訳ありません。

さて、今年は、水草の分布に関する新たな情報がたくさん集まった年であったように思います。府県レベルのレッドデータブックの編集が各県で始まり調査が進んだことや、農薬の使用が減ったために復活してきた水草が見られることが理由です。松江で見つかったヒメシロアサザも偶然の発見ですが、その1例でしょう。

現在、環境庁版のレッドデータブックの年度内発行に向けて最後の作業が進んでいますが、水草については最新の情報（既知産地に今も残っているのかどうか、等）がなかなか集まらないまま現状不明になっている例が多々あります。これを機に、さらに調査が進むことを期待しています。

2000年度の会費については既にご送金いただいている方もございますが、本年度の最終号になる次号に振替用紙を同封しますので、その折で結構です。いち早く次号の会報が発行できるように、ふるってのご寄稿をお願いします。 （角野）

水草研究会会報 68号

1999年12月25日印刷

1999年12月30日発行

発行 水草研究会

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1

神戸大学国際文化学部生物学教室 角野研内

TEL (078) 803-5719

FAX (078) 803-5719

印刷 中村印刷株式会社

〒657-0035 神戸市灘区友田町3-2-3